

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
高校美術2（光村図書）	なし

1. 学習目標

美術の独創的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 指導の重点

- ①美術の創造活動を通して、表現能力および鑑賞能力の育成と伸長を目指す。
- ②美術文化への理解を深め、美術を愛好する心情を養う。

3. 評価の観点の趣旨

a 知識及び技能	b 思考力、判断力、表現力	c 主体的に学習に取り組む態度
創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	感性や創造力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4. 評価規準と評価方法

評価は、次の観点から行います。

a 知識及び技能	b 思考力、判断力、表現力	c 主体的に学習に取り組む態度
創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	感性や創造力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度）、提出物（プリント課題、作品）、作品の完成度などから総合的に評価します。試験は実施しません。		

5. 学習計画

学習項目	学習内容	評価方法	評価の観点
1. カプセルトイの企画制作 （デザイン、彫刻）（35） ・企画立案 ・パッケージデザイン ・景品制作 〈35時間〉	○企画立案 企画書の作成、景品・パッケージのアイデアスケッチ ○パッケージデザイン アイデアスケッチ、レタリング、ポスターカラー ○景品制作 粘土造形、塗装	授業態度 課題の提出	c
		作品の完成度	a b
2. 絵画技法と画材の研究 （絵画）（35） ・画材の探求 〈35時間〉	○様々な画材の研究 鉛筆、木炭 色鉛筆、パステル、クレパス 透明水彩、油彩画、日本画	授業態度 課題の提出	c
		作品の完成度	a b

計 70 時間（50 分授業）

6. 課題・提出物等

授業は制作を中心に行います。各单元ごとに、計画、制作、振り返り（鑑賞）を1つのサイクルとして課題を進めていきます。試験を実施しないため、作品やプリントなどの提出物が主な評価対象となります。必ずすべての提出物を期限内に提出してください。

7. 担当者からの一言

美術Ⅱでは、美術Ⅰでの学習を基により発展的に学習し、美術に対する理解を深めていきます。自分が美しい・面白いと感じるものだけでなく、他者との関わりの中で感じる美しさや面白さにも着目してみましょう。一人ひとりが授業に主体的に取り組み、今後の人生の中での美術の楽しみ方を見い出していくことを期待します。